

## 東京都地方独立行政法人評価委員会 平成27年度 第4回 公立大学分科会における意見への対応について

番号	分科会における意見の要旨	中期目標案文への反映等	記載場所
○基本的な考え方等			
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な考え方の冒頭に「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を意識した目標とする」ことがあげられていることに違和感を感じる。まずは、都の高等教育機関として、どのように教育力・研究力を高め、社会に対してインパクトを与えていくかという点が一番重要。</li> <li>教育力・研究力の強化により、輩出した人材や生み出した知が、社会や地域へ貢献していく中で法人のプレゼンスも高まってくるのだと思うので、そういう打ち出し方を考えるべきである。</li> <li>プレゼンスの向上という点で言えば、各教育機関が送り出した人材が都といろいろな関係を作っていくことで、法人のプレゼンスを高めるということもあると思う。</li> </ul>	<p>中期目標の基本的な考え方等を示す前文において、各教育機関が教育研究力を高め、その成果を社会に還元し、更には世界へと波及させていくことにより、法人がその存在意義を都民に示していくという趣旨を「2 公立大学法人首都大学東京の基本的な目標」として記載。</p> <p>なお、第三期中期期間中に東京2020大会があることは都との連携等に関して大きな出来事であるので、前文の「2 公立大学法人首都大学東京の基本的な目標（重点目標）」において触れている。</p>	<p>前文 1頁26行 2頁2行</p> <p>前文 3頁6行</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大都市課題」とは具体的にどういう課題なのかポイントを明確にして、大学はその課題を解決するためにどういう働きをするのかをもう少し明確に書ければ、もっとアピールするところがあるのではないか。</li> <li>「大都市課題」として防災や環境があげられているが、人口の変化や高齢化についてもキーワードとして入れてはどうか。</li> </ul>	<p>前文の「2 公立大学法人首都大学東京の基本的な目標（重点目標）」において、大規模災害のリスクや少子高齢・人口減少社会の到来への対応等の大都市課題を解決するため、専門分野ごとの基礎研究力を強化するとともに、分野横断型の研究を戦略的に推進していく旨を記載。</p>	<p>前文 2頁14行 前文 2頁20行</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>数値目標は設定するのか。</li> </ul>	<p>都が定める中期目標は全体的な方針・方向性を示すものであり、一方、法人が定める中期計画は、目標達成に向けて確実かつ効果的に成果を出せるよう、可能な限り重要業績評価指標（KPI）を設定するほか、目標達成のための具体的方策を提示するものと整理し、その旨を前文の「3 中期計画及び年度計画の策定等」に記載。</p>	<p>前文 3頁12行</p>
○教育・研究・社会貢献			
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>若手教員の教育・研究面での育成という視点を取り入れた方がよい。</li> </ul>	<p>法人全体の教員人事に関する項目や、首都大・高専の教育・研究に関する項目に、若手教員・研究者等の育成・支援について記載。</p> <p>なお、具体的な取組については法人が中期計画に盛り込むことを想定。</p>	<p>法人 11頁3行 首都大 5頁26行 高専 10頁5行</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育研究と比べ、社会貢献がまだ強くないため、地域との関係等についてももう少し強調してはどうか。</li> </ul>	<p>前文の「1 中期目標の基本的な考え方」にて、人材育成や教育研究の推進、大都市課題の解決等により、地域社会の発展に貢献すること等の取組が求められている旨を記載。</p> <p>また、各大学・高専の社会貢献の項目に、産業界や地域のニーズを踏まえること、地元企業や地元自治体、金融機関など様々な担い手との連携により大学の知見を地域に還元する趣旨を記載。</p> <p>なお、具体的な取組については法人が中期計画に盛り込むことを想定。</p>	<p>前文 1頁13行 首都大 6頁8行 産技大 8頁17行 高専 10頁19行 21行</p>

番号	分科会における意見の要旨	中期目標案文への反映等	記載場所
○グローバル化			
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語化とは言うものの、まずは英語をいかに広げるかが実際上のステップだと思う。中期目標に書きこまないとしても、外国人教員の比率や英語による授業の実施などに関する具体的な目標が出てくるとよいと思う。</li> </ul>	<p>首都大のグローバル化に関する項目等に、国際通用性のある教育プログラムやキャンパスの国際化等について記載。</p> <p>なお、外国人教員比率や英語による授業の実施等の具体的な取組については、法人が中期計画に盛り込むことを想定。</p>	<p>首都大 6頁16行 28行</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>「知日派人材ネットワークの形成」とはどういうものなのかが分かりにくいいため、表現を工夫してはどうか。</li> </ul>	<p>前文で「世界の大学や研究機関等との交流による国際的な人材ネットワークの形成」、首都大のグローバル化の項目で「修了した留学生のネットワーク形成」等と、表現を工夫。</p>	<p>前文 3頁5行 首都大 6頁25行</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>可能であるならば、産技大や高専でも外国人留学生の受入を考えてもよいのではないか。</li> </ul>	<p>産技大では専門職大学院として相応しい外国人留学生や外国籍社会人学生を受け入れており、グローバル化に関する項目において、アジア諸国等の大学と連携して国際的な教育活動を展開することに言及。</p> <p>なお、留学生受入れについての具体的な取組は、法人が中期計画に盛り込むことを想定。</p> <p>高専については、外国に高専に相当する学校がないことや、国立高専のような寮がないことから、現時点では留学生の受入れを想定していない。</p>	<p>産技大 8頁27行</p>
○ダイバーシティ等の視点			
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性活躍の視点やダイバーシティの視点を入れた方が時宜にかなっているのではないか。</li> </ul>	<p>法人全体の項目や、首都大の教育・研究の項目において、ダイバーシティ実現の観点から、全ての学生や教職員にとって快適な学修環境・職場環境を実現することなどについて記載。</p> <p>なお、ダイバーシティ、女性活躍の視点での具体的な取組は、法人が中期計画に盛り込むことを想定。</p>	<p>法人 13頁2行 首都大 4頁33行 5頁29行</p>
○外部資金等の獲得			
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部資金の獲得、自己収入の増加についてサラッと書くのではなく、国の競争的資金や都の補助金・受託事業、民間の資金など、運営費交付金以外の資金の確保について、もっと強いメッセージを出した方がよい。</li> <li>競争的資金獲得のために良いアイデアを出し、よい教育研究をすることをアピールしていくことが法人のプレゼンスの向上にもつながる。</li> </ul>	<p>法人全体の自己収入の増加に関する項目等に、寄附金の受入れ拡大をはじめ、外部資金獲得を促進する仕組みの充実を図る等、収入源の多様化のための取組を一層積極的に推進し、自己収入の増加に努める趣旨を記載。</p> <p>なお、外部資金獲得強化の具体的な取組は、法人が中期計画に盛り込むことを想定。</p>	<p>法人 11頁32行</p>